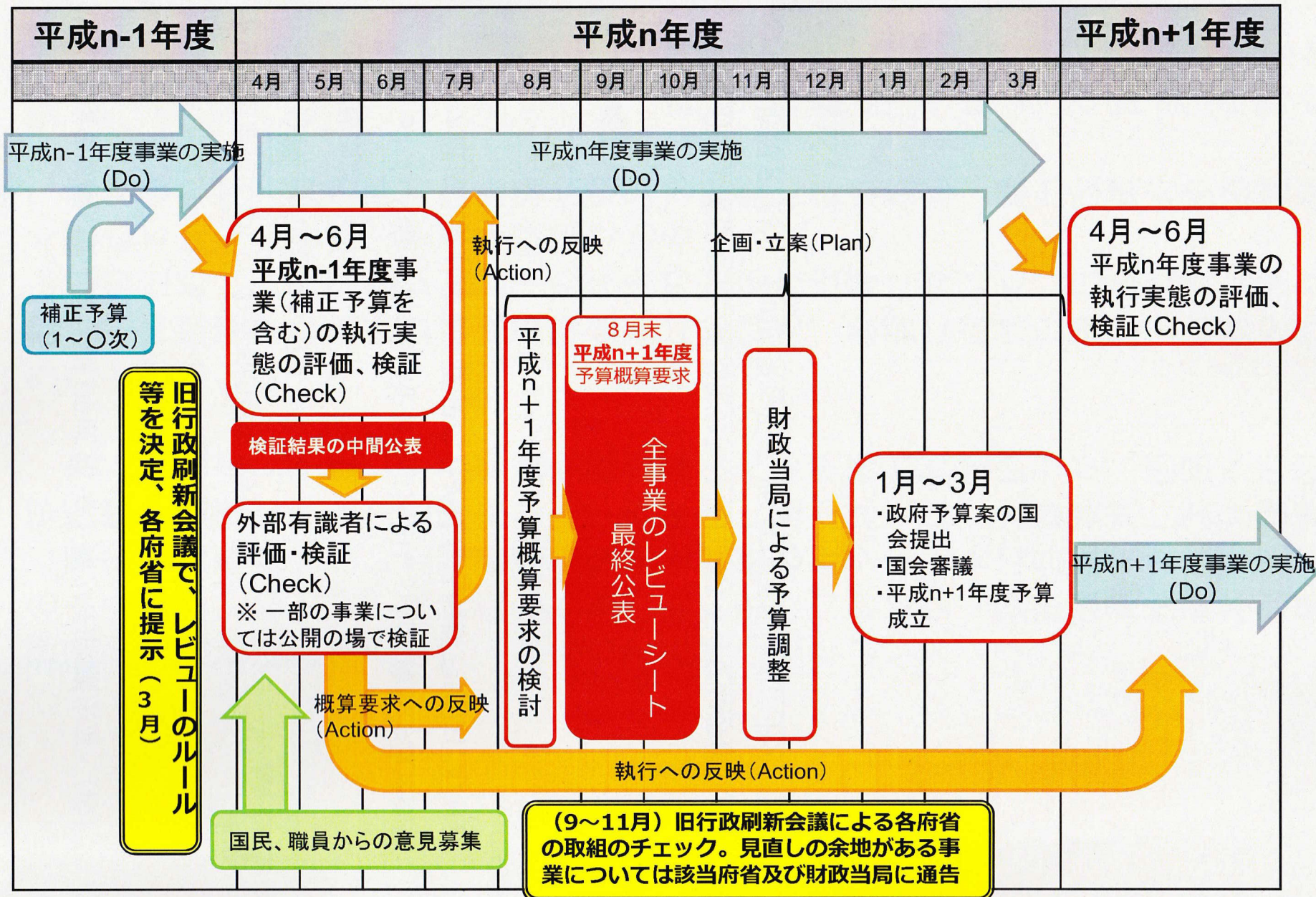


行政事業レビューの流れ（イメージ）



行政事業レビューシートの見方①

何十年も前に開始された事業の場合、時代に即した事業内容になっているか？

前年度執行実績に基づいて、点検作業を行います（23年に実施するレビューは、22年度実績がベース）。

平成23年行政事業レビューシート (〇〇〇〇省)							
事業名	(例) まちづくり推進サポート事業		担当部局庁	まちづくり政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～25年度(予定)		担当課室	まちづくりサポート課		刷新 太郎	
会計区分	一般会計		施策名	潤いのあるまちづくり			
根拠法令	〇〇〇〇法		関係する計画、通知等	まちづくり推進ロードマップ等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	民間事業者、NPO、地方自治体を含めた協議会等の各主体が、自発的にまちづくりの推進に取り組み、①中心市街地の産業活性化と、②エコでバリアフリーな移動方法の整備を図ることにより、持続可能なまちづくりを目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中心市街地の産業活性化やエコでバリアフリーな移動方法の整備を目的とした取組を実施する民間事業者、NPO、協議会等から申請を受けつけ、一定の効果をもたらすものと認められる事業について補助金を交付する。 また、インターネット経由で申請を行うと同時に、採用された取組を紹介するためのホームページを運営する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位: 百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	400	400	350	500	150
		繰越し等	100	0	150	0	
			0	0	0	0	
		計	500	400	500	500	
	執行額	438	250	220			
	執行率(%)	87%	63%	44%			

担当部局名・担当者名を明記することで、事業に対する説明責任を明確にします。

目的は妥当か？
そもそも税金(借金)を投入して実施する意義のある事業か？

目的に即した事業内容・手段になっているか？

シートの最終公表時には、次年度予算要求額が記載されます。点検内容が予算要求にどのように反映されたかが分かります。

※この事業の場合、点検内容が適切に反映され、予算要求額大幅削減となっています。

前年度の執行実績に基づいた予算額になっているか？

執行率が低いのはなぜか？理由をきちんと把握しているか？

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方①②

この事業を実施することでどのような成果が生み出され、どのように国民の利益となるかが分かります。
※この事業の場合、事業担当者は、成果を数値・数量で表すことは困難と記載していますが、例えばエコ移動網の成果としてCO2排出削減量などが考えられます。

記載された成果指標は真に国民の利益となるものか？

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)
	個別事業の目的がそれぞれ異なるため、全体の成果を定量的に示すことは困難。	成果実績					
		達成度					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	採用件数／申請件数	活動実績 (当初見込み)	件	220/360 (200)	138/143 (200)	56/68 (150)	— (100)
単位当たり コスト	392万円／件		算出根拠	平成22年度の全体の執行額÷採用件数			
平成 23・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	補助金	480	130	予算要求大幅削減との点検結果			
	広報費	20	20				
	計	500	150				

目標値に対する各年度の達成度は十分か？不十分の場合、点検結果において、その理由などの問題把握をしているか？

活動実績の見込みは適切か？見込みに対して活動実績が達成されているか？達成されていない場合、点検結果において、その理由などの問題把握をしているか？

各費目毎の予算額増減を見ると、事業予算の中でもどの部分を削減したのかが分かります。
※この事業の場合、広報費は据え置き、補助金部分で予算削減を行っています。

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方③

担当部局の自己評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選びます。

○：十分できている
△：一部できている
×：できていない
－：該当しない

なお、△、×の場合は、その理由を記載します。

事業所管部局による点検

事業を直接実施している担当部局による点検項目。各担当者が、事業の点検を行うべく、これらの項目についてどのような評価をしているかが分かります。

	評価	項 目	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	※この事業の場合、22年度執行率は44%と低調でしたが、担当部局は、その理由をきちんと把握しないまま、単に広報強化を来年度の対応として掲げてしまっています。
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	採用された事業の紹介用HPの管理・運営については、平成22年度までは随意契約を行っていたが、本年度からは一般競争入札を取り入れ、競争性を確保するよう努めている。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	※この事業の場合、成果目標を設定していないにもかかわらず、評価では「○」を付しています。また、次頁の予算監視・効率化チーム所見にあるとおり、他府省との類似事業がありますが、担当部局は類似事業の存在を把握していないようです。
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		今年度は、より多くの申請を得るべく、過去の取り組み事例等についての広報強化を実施している。24年度も引き続きこの取り組みを継続し、申請件数の増加を図る。	

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方④⑤⑥

予算監視・効率化チームの最終的な評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選びます：

- ・ **廃止**：事業全体として効果が薄い場合、国の事業として実施する必要性が認められない場合 等
- ・ **抜本的改善**：効果の薄いメニューが多いなど、仮に国の事業としての必要性は認められても、事業内容について大幅な見直しが必要と判断される場合 等
- ・ **一部改善**：国の事業としての必要性は認められるが、効果の薄いメニューがいくつか含まれるなど事業の一部に見直す点がある場合 等
- ・ **現状通り**：特段見直す点が認められない場合 等

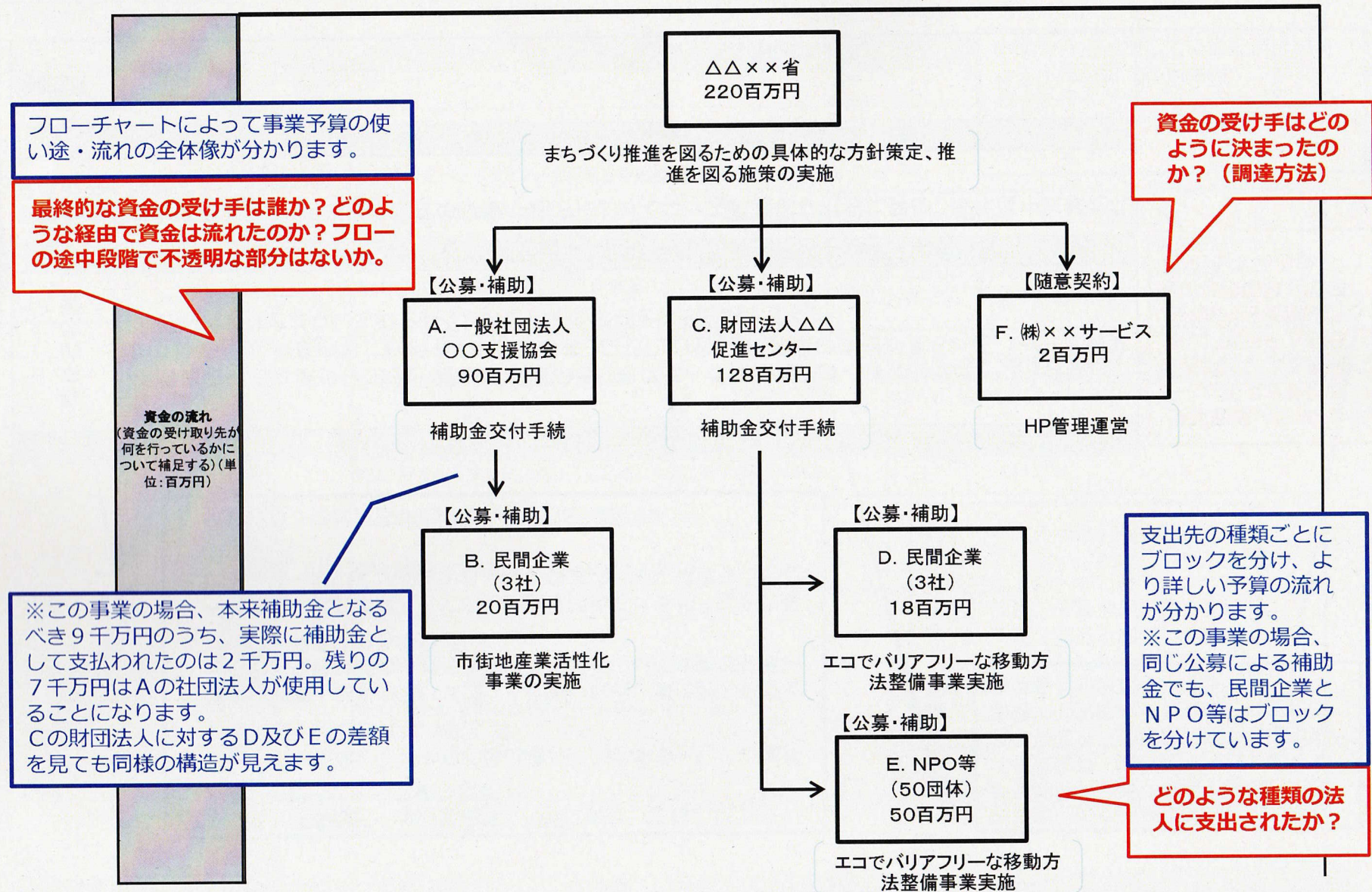
担当部局の点検結果をもとに、副大臣や外部有識者、職員で構成される「予算監視・効率化チーム」の考える予算要求への反映方針や、より効率的・効果的な事業実施にむけた改善点などが分かります。

予算監視・効率化チームの所見	
抜本的改善	申請件数は年々減少しており、現在の事業の在り方はまちづくりを推進する事業体のニーズと合致していない。また、事業内容に他府省(△△△△省、□□□□省)との事業の重複が見られる。ただし、事業の目的は否定されないものであるため、予算要求額を大幅削減とする。
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
予算要求額を大幅削減し、他府省との重複の排除や地方におけるニーズの適切な把握に努め、来年度中に新たな実施内容を検討する。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)	
特記なし	

予算監視・効率化チーム所見を受けた担当部局による再見直し。同チームからの指摘内容を踏まえ、適切な改善策を取ろうとしているか？

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方⑦



(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方⑧

※この事業の場合、資金の流れフローチャートで明らかになった補助金以外に使用されている7千万円の大半は、Aの社団法人の運営費に使われています。いわゆる「中抜き」構造になっていることが分かります。

事業目的に照らし合わせて、ムダ・不適切と思われる使い方はないか？
いわゆる「中抜き」構造はないか？

※この事業の場合、金の流れフローチャートで明らかになった補助金以外に使用されている6千万円は、応募のあった取組の審査業務という、この事業の目的に沿った使われ方がなされていることが分かります。

A. 一般社団法人〇〇支援協会			D. (株)まちづくり〇〇		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員、補助職員	38	工事費	商店街アーケード改築費	6
事業費	市街地産業活性化事業への補助	20	購入費	機材購入費	4
事務所維持費	事務所賃貸料	20			
広報費	セミナー開催費、パンフレット制作費	8			
システム運営費	HP運営・管理費等	2			
旅費	審査委員旅費	1			
その他	通信費、光熱費、消耗品費	1			
計		90	計		10
B. (株)〇〇建設			E. NPO法人まちづくり〇〇		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
建設費	テナントミックスにかかる工事費	12	賃借料	空き店舗賃借料	1
計		12	計		1
C. 財団法人△△促進センター			F. (株)××サービス		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	エコでバリアフリーな移動方法整備事業への補助	68	広報費	HP掲載コンテンツの企画・作成	2
人件費	全国10か所における審査会開催時対応のための派遣職員	35	システム運営費	HPの運営・管理	0
会議費	全国10か所における審査会開催	15			
旅費	審査委員旅費、職員旅費	10			
計		128	計		2

※この事業の場合、採用された取組紹介用のHP運営は、Fの事業者が実施しているはずですが、左欄のHP運営は、単に社団法人それ自体のHPの運営に経費を使用している可能性があります。仮に取組紹介用のHP運営であったとしても、Fの事業者のHP運営と重複することとなります。

種類別ブロックで支出先が複数の場合、支出額の最も大きい1者における用途を、代表例として記載しています。

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。

行政事業レビューシートの見方⑨

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	(百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人〇〇支援協会	応募事業の審査、補助金の交付事務		90公募・選定	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)〇〇建設	〇〇商店街における市街地産業活性化事業		12公募・選定	—
2	△△開発(株)	△△駅前における市街地産業活性化事業		5公募・選定	—
3	(株)××インターナショナル	××地区における市街地産業活性化事業		3公募・選定	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人△△促進センター	応募事業の審査、補助金の交付事務		128公募・選定	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)まちづくり〇〇	〇〇地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		10公募・選定	—
2	(株)△△計画	△△市△△地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		5公募・選定	—
3	××街づくり推進(有)	××地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		3公募・選定	—

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人まちづくり〇〇	〇〇地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		1公募・選定	—
2	NPO法人△△トラスト	△△地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		1公募・選定	—
3	NPO法人××コミュニティ	××地区におけるエコでバリアフリーな移動方法整備事業		1公募・選定	—
4	NPO法人……	……(中略)		1公募・選定	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)××サービス	HP掲載コンテンツの企画・作成、管理・運用		2随意契約	—

ブロック間で同じ団体・企業がないか？グループ会社ばかりが名を連ねていないか？

種類別ブロック毎に、支出額の大きい上位10者をリストアップしています。

なぜ競争入札ではなく随意契約なのか？競争性が保たれているか？

(注) この事業は架空のものであり、実際には存在しません。